にこにこ

ボーイスカウト
浜松第22団
広報誌　vol.34

開会のセレモニーには遅れましたが、
無事に本長篠駅から完歩しました。

″2014年 団レクを終えて″

団レク実行委員長　辻 信昭

今回の団レクは、昨年に引き続き、鳳来寺の”山の家”としました。
活動を振り返ると、ボーイ隊スカウトは、独自に、電車とハイクで″目指せ 山の家″として、団レクに参加することができました。
ボーイ隊は家形テント設営、ベンチャー隊は″立ちかまど″を使ってのツイストパン製作をしました。ビーバー、カブのスカウトや保護者の方には新鮮に見えたことと思います。
カブ、ビーバー隊のスカウトは、段ボールでのロボット作りや寝ぐら作りを行いました。
スカウト、リーダー対抗の熱くなったドッジボール大会は、私も″本気″でスカウトと汗を流しました。この時のスカウト、保護者の笑顔が良かったですね。スカウトたち（小中学生）に″本気″でぶつかることも重要だと感じました。
夕飯作りでは一口パンやツイストパンやピザを段ボールオーブンで焼きました。
2年目ということもあり、施設内での生活も、スムーズに進めることができたと感じます。雨上がりの運動場のぬかるみを、みんなで整備することで、ミニ運動会を屋外で開催することができました。アクシデントをみんなで克服することができたことも大きな成果だと思っています。
今回の団レクでは、保護者のみなさん、団委員のみなさん、各隊のリーダーのみなさん、それからベンチャー隊のスカウト達の協力で、成功させることができました。特に団委員のみなさんには、裏方として大変お世話になったと感じています。ありがとうございました。
来年は、22団発足40周年です。来年の団レクも楽しい活動ができたらいいなあと思いました。

平成26年6月30日　編集：浜松第22団広報委員会